

## 庄学区活動促進協発足30年目

庄学区地域活動促進協議会は今年、発足30年目。学区を挙げての運動会、史跡を巡るウォークラリー、花壇の手入れなどを企画し、地域に元気を与えている。(土井一義)



ふれあい花壇を手入れする庄学区地域活動促進協議会のメンバー

## 多彩な企画 地域に元気

協議会は1984年、国の提唱した「心をつなぐ地域活動」を実践するため、同学区の住民が集まって結成した。

事務局の約30人が中心となり、イベントを計画。毎年、スポーツの秋の10月には学区内の地区対抗運動会、ペタンクなどを楽しむニュースポーツフェスを開催。地元商工会と協力して出店や抽選会などで盛り上がる「ふれあい祭り」(11月)、ファミリーマラソン大会(2月)、庄の歴史を学びながら体力づくりにつなげる「ふれあいウォーク」(3月)も恒例となっている。庄小学校(倉敷市上東)のプール横に20周年記念で整備した「ふれあい花壇」では、定期的な花の

## 運動会や花壇手入れ 住民の絆深める

植え替えと草取りを行い、住民らの目を楽しませていく。地域の一体化を目的に作った「庄音頭」の普及にも力を入れる。

会計担当の小林紀代美さん(64)「同所」は「住んで良かったと思えるまちになるよう、住民の交流につながる活動をしてきた」と振り返る。

30年目の今年は地元の名所や旧跡の解説付き絵地図「荘園の里ふれあい散歩」の改訂版を作る予定。同絵地図は10周年記念で作製し、住民らに好評だった。

飯田龍彦会長(72)「同所」は「これからも住民が協力し合い、地域の絆を深めていきたい」と話している。